

個人情報搾取・流出 フィッシングの脅威

いろいろ
悪用
される!

先日、大手通信事業者に係る口座不正出金事案があり、報道でも大きく取り上げられていました。

個人情報や口座情報を『**何らかの方法**』で不正入手した犯人が、通信事業者が運用する決済サービスを不正に得た個人情報を使って利用できるようにして、その人の銀行口座とひも付けて預金を不正に引き出した事案です。

不正利用者が他人の個人情報等を入手する『**何らかの方法**』の可能性の1つとして『フィッシング』という手口があります。

フィッシングの手口を知って、個人情報を盗み取られないようにしましょう。

●フィッシングの流れ

ネットの検索結果、偽SMS、Web広告

偽サイトへ誘導

偽サイト



偽宅配業者サイト
偽官公庁サイト
偽銀行サイト
偽ふるさと納税サイト

偽通信事業者サイト
偽IT事業者サイト
偽ショッピングサイト
etc...

偽サイトで個人情報やクレジットカード情報などの入力を促されて、本物のサイトだと信じて入力してしまう。

個人情報の
搾取・流出



個人情報等の悪用

犯人は、入手した個人情報等を使って、勝手に銀行口座を開設したり、銀行口座、クレジットカード、キャリア決済などを不正に利用したりするなど、いろいろなことに悪用します！

フィッシングは、個人情報が搾取されたり、流出した段階では実害がなく気がつきにくいですが、個人情報等を入手した犯人等によっていろいろなことに悪用されてしまいます。どんな場面でも、個人情報等を入力するときは、本物かどうかよく確認しましょう！